

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若者の力で祭りを盛り上げよう！「たかぎふるさと祭り30周年記念イベント」
事業主体 (連絡先)	たかぎふるさと祭り実行委員会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	964,355 円

事業内容

第30回の記念イベントを若者の力で盛り上げようと飯田OIDE長姫高校の生徒が作製した「プロジェクションマッピング」、祭りへの来場者から情報発信をしてもらう「フォトコンテスト」を行った。

プロジェクションマッピングは度重なる話し合いを経て「喬木物語」と題し、今へつなぐもの(過去)、残したいもの(現在)、未来へつなぐものを想像した内容となった。

フォトコンテストは、Instagram部門を創設し、若者の情報発信力を活用し、今まで以上に喬木村をPRする機会となった。



【プロジェクションマッピング】

【目標・ねらい】

- ①ふるさとへの意識の醸成をはかり定住のきっかけとなることを期待
- ②若者によって祭り盛り上げ、全国へ活力ある祭りを発信しPRする

事業効果

① イベントを高校生が手がけることで、祭り自体も注目度が高まり雨天の中でも多くの来場者に見てもらえることが出来た。

制作に携わった高校生はもちろんのこと、作品を見た多くの若者は喬木村のすばらしい自然や伝統をプロジェクションマッピングの作品を通じて改めて感じる事が出来き、ふるさとへの意識の醸成が図られた。また、学校では体験できない現場の技術を体験し取得することができ、大きな成長する機会となった。

② 祭りへ若者の参画によって、活力ある祭りとして更に成長することができた。今回行ったフォトコンテストには若者が祭りへ参加しながら情報を発信してもらえたので多くの方へたかぎふるさと祭りの魅力を知ってもらえる機会となった。

※自己評価【A】

【理由】

予測以上の反響があり、30周年特別企画として大いに盛り上がった。作品に携わった高校生は地元就職を希望しており、今後地域でも活躍が期待される。

今後の取り組み

若者が祭りに関わる事によって、地域の大人たちと一緒にしてお祭りを作り上げていく機会となり、ただ見学するだけのお祭りとは違い、地域のことを改めて知り、また自らの達成感を味わうことで深く感情に刻まれることになる。今後も運営側で若者が関わる取り組みを続けていくことは、進学でこの地を離れても、ふるさとへの意識の醸成されUターンのきっかけとなる事が期待される。